# 壱岐新報

11月2日（金）

発行所 ㈱壱岐新報社
〒811-5136 長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触247-7
TEL/FAX 0920-47-3196
ikisinpou@oboe.ocn.ne.jp
HP ikishinpou.com
発行 毎週金曜日
購読料 1ヶ月1,000円(税・送料込み)
発行人 大野英治
編集長 武田嘉人


# 優秀な壱岐牛をアピール

## 県勢が初の日本一を獲得

### 第10回全共・和牛の祭典inながさき

5年ごとに開かれている全国和牛能力共進会の第10回大会は「和牛の祭典inながさき」と銘打ち25日から29日まで、佐世保市、ハウステンボスをメイン会場に開かれ、肉牛の部・8区（若雄後代検定牛群）で、3人一組による出品牛が最高位に当たる「優等賞主席」に選ばれ、本県勢初の日本一となった。

本市から県代表として出場した5頭もすべてが優等賞に選ばれ、第3区（若雌の2）に出場した芦辺町、藤本光義さんの「さちえ」号は優等賞・11席に選ばれ、第5区（繁殖雌牛群、4頭セット）に出場した芦辺町、白川忠さんの「たま」号、勝本町、川原林国広さんの「はなこ」号、郷ノ浦町、松本俊治さんの「きくはる」号、勝本町、植村幸一さんの「はる」号の4頭が優等賞・7席に選ばれ、優秀な壱岐牛を全国から会場を訪れた多くの関係者らにアピールした。

さらに、第9区（去勢の肥育牛）に出品した△郷ノ浦町、山本満年さんの「重晴」号も優等賞・19席に選ばれた。

# 不戦、恒久平和を誓う

## 約500人が参列

### 本市戦没者追悼式・慰霊祭

戦後67年となる今年、県戦没者慰霊奉賛会・壱岐市支部（支部長・白川博一市長）主催の本年度・市戦没者追悼式と慰霊祭（市戦没者慰霊奉賛会主催）が23日、郷ノ浦町、文化ホール・大ホールで行われた。

今年度の式典は、前日からの悪天候で会場を芦辺町国分郷、忠魂碑前から文化ホールへ会場を移し、遺族や来賓ら約000人が参列して執り行われ、国難に散った1903柱を追悼、慰霊。現在の日本の繁栄は、戦没者の犠牲の上に築かれていることを忘れてはならない。平和を守り、不戦、世界の恒久平和に努めることを全員で誓った。

文化ホールで行われた追悼式

# 名称を東京壱岐雪州会へ

## 壱岐からも参加、230人が集う

### 創立95周年記念の総会と懇親会

平成24年度東京壱岐雪州会の定時総会、及び懇親会が28日正午、東京プリンスホテルにて盛大に行われた。壱岐からの来賓20人を含め、総勢230人が出席し、郷土である壱岐の話題に花が咲いた。

大正6年に壱岐出身者有志による発意で創立され、今年で95周年を迎えるに至った東京雪州会は、名称に壱岐の文字を入れ、壱岐の関係であることがどの地域でも明確に解るように、東京壱岐雪州会と改名した記念すべき今回の総会でもあった。

挨拶の言葉として牧山康敏会長は、「今年は創立95周年の節目の年。先人が歴史と伝統を守り続けてくれたおかげで、ここまでこれたことに感謝する。名称を変更したことも、壱岐出身者の親睦団であることが一目で分かるよう「壱岐」を明示し、ふるさと壱岐をさらにPRしていきたい。」と語った。

また、白川博一市長が来賓代表として緑化寄付金の目録贈呈を受け、「壱岐の自然を末永く保全する為に、大切に使わせて頂きます」とお礼の言葉を述べた。

その後の懇親会は、山本啓介県議会議員の乾杯の挨拶で始まり、壱岐PR親善大使で歌手の対馬一誠さん、演歌歌手三橋美智也さんの実弟である金谷博治さんの歌謡ショーなどステージ上でのアトラクションが行われた。

また恒例の福引き抽選会では、多くの寄贈者から寄せられた麦焼酎や壱岐の米新ブランドつや姫、壱岐の塩や多くの海産物などの商品が並び、抽選に当たった人たちは壱岐産の商品を手に満面の笑顔がこぼれていた。

約3時間半に渡って開催された定時総会と懇親会は、最後に壱岐市観光協会長島立身会長の締めの言葉と万歳三唱で幕を閉じた。

挨拶する牧山会長

盛大だった東京壱岐雪州会の総会と懇親会

## 教職員文化美術展

### 9～11日、壱岐教育会館

市内中学校の教職員と教育関係者による絵画や書、工芸、写真など第43回教職員文化美術展が9日と10日の両日は午前9時から午後6時まで、11日は午前9時から午後3時まで、郷ノ浦町、壱岐教育会館で開かれる。問い合わせなど同会館（電話0920－47－1361）へ。

## ひとしずく

漂着ゴミの調査や回収、処分がボランティアらにより行われているが、海の環境保全と美化への取り組みを今以上に強化したい▼先週末に石田町、筒城ふれあい広場に行く機会があり、ついでにもう少し足を延ばして、七湊へ行ってみた。水門から延びる防波堤から、筒城浜を眺めると、そこには見事な白砂青松が広がっていたが、足元の海面には、プラスチックゴミが風で吹き寄せられていた▼壱岐の魅力と言えば、何と言っても島であること、それも美しい海に囲まれた緑豊かな島であることである。こんなイメージから、島の自然に対しての想像が膨らみ、「自然を楽しみたい」「より新鮮な海、山の幸を食べてみたい」「澄んだ空気で胸をいっぱいにしたい」などとなる▼そんなイメージを胸に抱くとき、目の前の海にたくさんのゴミが浮かんでいたり、異臭が漂ってきたりすると、全てが台無しになってしまう。海の汚染の最大の要因は、生活排水とされている。できるだけ海にゴミを捨てたり流したりせぬよう心掛けたい▼フェリーターミナルには、子どもたちが「未来に残そう青い海」の標語のもと描かれた、海洋の環境保護などアピールする絵画が展示されている▼島民はもちろん多くの人たちが、海からの大いなる恩恵を受けている。その恵みに感謝しながら、島民総参加で海の環境美化に取り組みたい。


ご婚礼☆記念写真
STUDIO
赤木フォトサロン
「写真は未来の宝物」
赤木写真館
47-0063


# 一支国博物館 しまごと芸術祭

## 美術展

### 壱岐市民絵画・写真展

「壱岐の歴史的なもの」をテーマに、壱岐市民から寄せられた絵画作品・写真を展示します。

○会期　11月2日(金)～11月25日(日)
○場所　1階　テーマ展示室　3階　多目的交流室　○入場無料

## 音楽祭

### マンドリンコンサート

日本の抒情歌と、昭和の歌姫・美空ひばり特集でお楽しみください。

○日時　11月4日(日)13:30開場　14:00開演
○入場無料
○演奏　太宰府マンドリンクラブ
○場所　3階　多目的ホール
○各イベント先着150人

### 一支国浪漫コンサート2012

クラシックとオペラの親しみやすい楽曲を織り交ぜたコンサートをお届けします。

○日時　11月11日(日)13:30開場　14:00開演
○入場　一般500円、高校生以下300円
＊未就学児不可
○演奏　窪田脩子(ピアノ)
横山浩平(声楽・バリトン)ほか

### 一支国寄席　～江戸落語を堪能する～

○日時　11月3日(土祝)13:30開場　14:00開演
○出演　二ツ目／三笑亭可女次
色物／マジックジェミー
真打ち／三笑亭遊史郎

要予約

# 市山 恵一　テノールリサイタル

KEIICHI ICHIYAMA Tenore Recitale

★2012年11月10日(土)
開演　午後6時30分
★壱岐文化ホール・大ホール
大人（前売）1,500円（当日2,000円）・
高校生以下　500円

★チケット販売協力店 <9/25より>
玄海酒造（株）・壱岐文化ホール・
立川事務機商会・長田写真館
キクタヤマハ楽器特約店
大内商店（勝本）・みのだ商店（勝本）
CDステーション（ダイエー内）・
ヘアサロン中野（石田）

後援／長崎県文化団体協議会　壱岐市　他
お問い合せ／TEL 0920-47-6055（川尻）